

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	こどもと健康	
科目基礎情報							
開設学科	こども学科		コース名	幼稚園教諭・保育士コース		開設期	前期
対象年次	2年次		科目区分	必修		時間数	15時間
単位数	1単位		授業形態	演習			
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。						
担当教員情報							
担当教員	前 嵩西珠世			実務経験の有無・職種	有・スポーツクラブこどもスクールインストラクター		
学習目的							
実際の保育現場において子どもの発達をどのように捉え、どのような内容をもって、どういうふうに指導・援助すべきか、子どもの個々の健康状態を評価する能力を養うことを目的とする。 乳幼児期は、生涯にわたって必要となる健康な心と身体の基礎を作る重要な時期である。子どもの健康を守り育てるためには、実際の保育面で子どもの発達をどのようにとらえ、どのような内容について、どのように指導し援助するのが効果的かについて積極的に関与し、こどもの個々の健康状態を評価する能力を養うことを目的とする。							
到達目標							
◎到達目標： 1.領域「健康」の狙いと内容が理解できるようになる。 2.運動遊びを理解し、発達に合わせて適切な内容を選ぶことができる。 3.こどもが基本的な生活習慣を獲得するための援助及び指導ができるようになる。 4.安全教育を理解し、管理及び指導の方法がわかるようになる。 5.健康に関する内容について、指導案を作成することができる。 6.健全な発育・発達を阻害している健康問題を認識・考察し、健康維持の生活についてアプローチしようとする力を養う。							
教育方法等							
授業概要	乳幼児期の健康に関する幅広い知識と個々の発育発達の状態の仕方、子どもが健康でたくましく育つための具体的方法について、現代社会の子どもを取り巻く生活環境にも目を向けながら子どもの積極的な健康指導の方法を学習する。						
注意点	学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。講義開始時間は厳守。開始後10分までは遅刻、それ以上の遅刻は欠席とみなす。ただし、受講は可能。保育者として運動するにふさわしい服装にて参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	平常点	30%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
	成果発表	20%	保育に必要な運動指導の基礎が身についているか確認するために実施する				
	筆記試験	50%	授業内容の理解度を確認するために実施する				
授業計画（1回～8回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	イントロダクション：「健康」とは何か			保育所保育指針・幼稚園教育要領のねらいと内容を理解する			
2回	基本的な生活習慣・生活リズム			こどもが基本的な生活習慣を獲得するための援助及び指導法を理解する			
3回	運動遊びの重要性・遊びを豊かにする指導者の役割			こどもの遊びをリードする保育者としての重要性を理解する			
4回	指導上の留意点・運動遊び指導案作り			グループ分け・運動遊び指導案作成			
5回	模擬授業①			模擬授業発表			
6回	模擬授業②			模擬授業発表			
7回	安全教育と安全管理・乳幼児の健康にまつわる今日的課題			乳幼児をとりまく健康の今日的課題を理解する			
8回	まとめ			授業の振り返り、まとめ			
9回							
10回							
11回							
12回							
13回							
14回							
15回							

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	こどもと健康	
科目基礎情報						
開設学科	こども学科	コース名	保育士コース		開設期	前期
対象年次	2年次	科目区分	必修		時間数	15時間
単位数	1単位	授業形態	演習			
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。					
担当教員情報						
担当教員	前高西珠世			実務経験の有無・職種	有・スポーツクラブこどもスクールインストラクター	
学習目的						
実際の保育現場において子どもの発達をどのように捉え、どのような内容をもって、どういうふうに指導・援助すべきか、子どもの個々の健康状態を評価する能力を養うことを目的とする。 乳幼児期は、生涯にわたって必要となる健康な心と身体の基礎を作る重要な時期である。子どもの健康を守り育てるためには、実際の保育面で子どもの発達をどのようにとらえ、どのような内容について、どのように指導し援助するのが効果的かについて積極的に関与し、こどもの個々の健康状態を評価する能力を養うことを目的とする。						
到達目標						
◎到達目標： 1.領域「健康」の狙いと内容が理解できるようになる。 2.運動遊びを理解し、発達に合わせて適切な内容を選ぶことができる。 3.こどもが基本的な生活習慣を獲得するための援助及び指導ができるようになる。 4.安全教育を理解し、管理及び指導の方法がわかるようになる。 5.健康に関する内容について、指導案を作成することができる。 6.健全な発育・発達を阻害している健康問題を認識・考察し、健康維持の生活についてアプローチしようとする力を養う。						
教育方法等						
授業概要	乳幼児期の健康に関する幅広い知識と個々の発育発達の状態の仕方、子どもが健康でたくましく育つための具体的方法について、現代社会の子どもを取り巻く生活環境にも目を向けながら子どもの積極的な健康指導の方法を学習する。					
注 意 点	学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。講義開始時間は厳守。開始後10分までは遅刻、それ以上の遅刻は欠席とみなす。ただし、受講は可能。保育者として運動するにふさわしい服装にて参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。					
評 価 方 法	種別	割合	備 考			
	平常点	30%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する			
	成果発表	20%	保育に必要な運動指導の基礎が身についているか確認するために実施する			
	筆記試験	50%	授業内容の理解度を確認するために実施する			
授業計画（1回～8回）						
回	授業内容		各回の到達目標			
1回	イントロダクション：「健康」とは何か		保育所保育指針・幼稚園教育要領のねらいと内容を理解する			
2回	基本的な生活習慣・生活リズム		こどもが基本的な生活習慣を獲得するための援助及び指導法を理解する			
3回	運動遊びの重要性・遊びを豊かにする指導者の役割		こどもの遊びをリードする保育者としての重要性を理解する			
4回	指導上の留意点・運動遊び指導案作り		グループ分け・運動遊び指導案作成			
5回	模擬授業①		模擬授業発表			
6回	模擬授業②		模擬授業発表			
7回	安全教育と安全管理・乳幼児の健康にまつわる今日的課題		乳幼児をとりまく健康の今日的課題を理解する			
8回	まとめ		授業の振り返り、まとめ			
9回						
10回						
11回						
12回						
13回						
14回						
15回						